

街にあるものが全てが景観に

山並みや緑地などの「自然」、建物や道路といった「都市」はもちろん、人の活動やにぎわいといった「人の暮らし」も、街の景観をつくっています。

札幌の魅力を高める景観

市が行ったアンケート調査*によると、市民の約8割が札幌の景観に魅力を感じていると回答。魅力的な景観は、住む人が街に愛着を持ったり、観光客が増えたりするきっかけとなり、地域経済の活性化にもつながります。

*平成27年度市民意識調査

景観が良くなると…



何か秘密が
ありそうね。
さっそく
理由を調べに
行くわよ!



発見!

札幌の景観の秘密

私たちが普段目にする景色や眺めを意味する「景観」^{けいかん}。今回の特集では、街の景観をより良くしていくための取り組みを、実際に携わる方々の思いを交えながら紹介。札幌の景観がどのようにつくられているかを探ります。【詳細】地域計画課 ☎211-2545

今回の記事のテーマは「札幌の景観」! さっそくネタを探すわよ

一緒に秘密を探るのはこの2人

テレビ塔の展望台から見る大通公園はやっぱり素晴らしいね!

2人がいるのはここ

雑誌記者
のぞみ 望美
日頃から記事のネタになりそうなことを探している。気になることはすぐに関き込みをする

専属カメラマン
けい 景
いつでもカメラを持ち歩き、きれいな景色を見るとカメラを連写するくせがある



地域で取り組む 景観まちづくり

地域ごとの魅力的な景観は、地域に対する愛着や誇りを育みます。ここでは、町内会など地域の方が景観づくりのためにやっている取り組みを紹介します。



西区・宮の沢中央地区のラベンダー通り

*景観まちづくりに取り組む宮の沢中央町内会の方々にインタビュー



地域を通る二十四軒手稲通は、「ラベンダー通り」の愛称で親しまれています。中央分離帯にはラベンダーが植えられていますが、自分たちの手でもっと景観を良くできないかと思い、市と相談して歩道にもラベンダーを植えました。そのおかげか、以前は多かった歩道への駐車も減り、見た目も一層美しくなって、やってよかったと思いましたよ。



より良い街並みにしていくには、若い人の力など多くの人手が必要。たくさんの方に景観づくりに興味を持ってもらうため、ラベンダーを使ったクラフト講習会や地域の魅力を再発見するまち歩きイベントも開いていますよ。周りにラベンダーを植えているお宅や店も増えてきており、活動の規模をどんどん広げていくのが夢ですね。



? 宮の沢中央地区でも作った 景観まちづくり指針

地域の皆さんとともに地域ごとの特色ある景観づくりを進めるため、取り組んでいく活動やルールをまとめたものです。4月現在、モデル地区であるロープウェイ入口電停周辺地区、西15丁目電停周辺地区のほか、定山溪地区でも作られており、今後はほかの地域にも広がっていきます。



▲ロープウェイ入口電停周辺地区で行っている冬にアイスキャンドルを飾る取り組み



出前講座

景観まちづくりや地域のルールづくりを始めたい方におすめの市の職員が出向き、地域の景観まちづくりの進め方やルールづくりの方法などを解説します。申込方法などは本誌12ページ(出前講座のページ)「利用方法」の欄をご覧ください。
テーマ①地域ごとの景観まちづくり②地域のまちづくりのルールを考えよう～地区計画などの制度を説明します。
申込先地域計画課 ☎211-2545

*自然や建物が 調和した街並みに

みどりや建物などが調和し互いに引き立てあう景観をつくるためには、それぞれの色やデザインなどが周りの街並みに合うようにすることが大切。ここでは、札幌ならではの街並みをつくる要素の一つである「札幌の景観色70色」を紹介します。



? 「札幌の景観色70色」



まずは私が解説します! 建物などの外観の色の基本となる70色を決めたものです。市民の皆さんの意見のほか、四季を通じて変化する札幌の自然の色などをもとに選んでいます。それぞれの色に「藻岩山」「雪まつり」などの札幌らしい名前が付けられているんですよ。

市の景観づくりの取り組みに携わる地域計画課 桑原職員

*市内の大きな建物や観光スポットなどの色は景観色をもとに考えてもらっています



*ベンチ塗装プロジェクトの事務局の方にインタビュー



私は木材を塗装する会社で働いていることもあって、札幌らしくきれいな景観色に興味を持ちました。そこで、全70色の塗料を作り、これを活用して景観を良くする方法はないか市の職員と話し合った結果、参加者を募ってベンチを塗り替えるイベントが実現したんです。景観色の塗料で、風景に彩りを加えるベンチにすることができたので、とてもうれしいです。



▲5年間で総勢500人以上の方の手によってベンチの色が塗り替えられた。今後は創成川公園などでも行うという

サッポロウッドリペインターズ代表 宮川多恵さん



*調和のとれた景観づくりのために配慮をお願いします

調和のとれた景観づくりには、さまざまな配慮が重要です。大規模なマンションなど一定の要件に該当する建物を作る・直す場合には、外観の色やデザインなどが周りの街並みに合っているかを話し合うため、事前に市への届け出をお願いします。

詳しくは札幌市景観計画の冊子やホームページでご覧いただけます



配布場所 市役所5階地域計画課
札幌市 景観 検索

*身近にある素敵な 景観を発掘

街をあらためて見渡してみると、皆さんの周りにも心引かれる景観がきっとあるはず。ここでは、まだまだ知られていない魅力ある景観を掘り起こすための取り組みを紹介いたします。



▲上空から見たポプラ通り（屯田防風林）

! お気に入りの景観を見つけて提案 景観の種プロジェクト

自然、建物、人の活動など、魅力的な景観をつくる上で価値があると認められるものを「景観の種」として登録し、市が情報発信をしていく取り組みです。景観に関心を持つ人が増えることで、建物などの新たな活用方法や景観づくりの活動が生まれることを目標としています。

登録までの流れ

- 1 市民が市に登録の提案
市役所5階地域計画課、ホームページで配布中の登録提案書を、地域計画課へ直接提出
情報の提供も受け付けています!
景観の種 情報提供 検索
- 2 市が登録するかを検討
- 3 市が所有者から登録の同意をもらう

登録!

登録されている景観の種

*ポプラ通り（屯田防風林）



強い風から農地を守る防風林として大正時代に植えられ、平成10年に現在の形に整備されました。樹齢100年を超すポプラの木やオオウバコリの群生が見どころです。この景観を守るため、地域の住民が外来生物の駆除やパトロールなどの活動を行っています。
所在地 北市区 屯田・新琴似



*真駒内曙中学校のハルニレ



推定樹齢約300年の大木。オンドリなど小動物の憩いの場でもあり、自然豊かな札幌を象徴する木の一つとなっています。

所在地 南地区 真駒内曙町2

*宮の沢中央地区での取り組み

5ページで紹介した宮の沢中央地区の取り組みも景観の種に登録されています。



街の景観に目を向けてみよう

これまで見てきたように、札幌の魅力を高め、活力ある街にしていけるために、市では地域や企業などと協力してさまざまな景観づくりに取り組んでいます。より良い景観をつくっていくために、皆さんも身近にある街並みに目を向けることから始めてみませんか。



*特色ある建物や自然を受け継ぎこの街らしい景観に

歴史的な建物や地域のシンボルとなっている自然などの景観資源は、個性豊かな景観をつくり出します。ここでは、こうした景観資源を将来につないでいく取り組みを紹介いたします。

景観資源を維持する 手伝いをしています

歴史的な建物や自然を保全し、維持するためには費用や手間がかかる場合も。そこで、市は指定した景観資源の維持にかかる費用の一部を助成しているほか、より魅力を高めるための活用を後押ししています。

市内の景観資源を探しに出發!



私は南地区の石山地区で探すわ!

札幌軟石が醸し出す重厚感に注目! *旧石山郵便局(ぼすとかん)*

かつて市内の建物に多く使われた札幌軟石で造られた建物。昭和15(1940)年に郵便局として建てられ、その後も地域の歴史の象徴として大事にされてきました。石山地区が札幌軟石の一大産地であったころの面影が感じられます。
所在地 南地区 石山2の3

4/27(土) リニューアルオープン

建物内に軟石を使った小物の販売店舗やカフェを新設します。営業時間10時~18時(カフェは11時から) 休館日 日曜、第2・第4火曜



▲札幌の景観色をあしらったアロマストーン(税込864円~)からお気に入りを見つけよう

*旧石山郵便局を残していくための活動をする方にインタビュー



建物を引き継ぐのがいいね

建物の形や石の質感に一瞬で引きつけられて、未来に受け継いでいきたいと思います。所有者の方の理解を得て、資金集めを始め、建物を活用するための改修を実現。ここを、周辺の魅力のある場所を巡る拠点にしていきたいですね。

ぼすとかん再生プロジェクトのおおむね 吉村 卓也さん(右)と小原 恵さん(左)

赤い屋根が目印の鉄道旧駅舎 *旧石切山駅(石山振興会館)*



見学内覧可(10時~17時。土日曜、祝・休日を除く) 所在地 南地区 石山1の3

大正7(1918)年から半世紀、豊平~定山溪間を走った定山溪鉄道の旧駅舎。市民の足となった鉄道の歴史を感じさせるとともに、地域の催しや子どもたちの学びの場に活用されています。

西岡地区を調査するわ



果樹園が広がっていた時代を今に伝える *旧沼田家りんご倉庫

昭和30年代まで、西岡地区で盛んだったリンゴ栽培のために建てられた倉庫の一つ。れんが造りの建物で、現在は喫茶店になっています。庫内の温度を保つために工夫されたれんがの積み方に着目してみても。

見学喫茶店利用者のみ内覧可 営業時間9時~21時 所在地 豊平区 西岡4の10

このほかの景観資源や、保全活用への助成制度の詳細はホームページでご覧になれます | 札幌市 景観資源 検索